
令和7年度（2025年度）

札幌市立真駒内中学校 全国学力・学習状況調査

調査結果の概要及び改善の方向などについて

令和7年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、札幌市立真駒内中学校の調査結果をお知らせいたします。

- ☐ 本校の結果として、実施された国語・数学・理科に関して【区分及び領域】で概要を示しました。
- ☐ 次に、今回の調査における課題を教科の指導内容に照らして示しました。
- ☐ 最後に、改善の方向を教科指導の実際を踏まえ、示しました。
- ☐ また、生活習慣や学習環境に関する調査につきましても、顕著なものを取り上げてまとめました。

全国学力・学習状況調査 調査報告書については、下記の国立教育政策研究所ホームページも併せて御覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

学力調査の結果概要及び改善の方向等について

【中学校国語】

本校の概要

【領域】

「話すこと・聞くこと」

△平均正答率は、全国平均を上回っている。
 ・「資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように、表現を工夫することができる」「資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことができる」「相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる」「自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して話の構成を工夫することができる」について、全国平均を上回っている。

「書くこと」

△平均正答率は、全国平均を上回っている。
 ・「目的に応じて、集めた資料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる」「書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開をすることができる」「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を根拠にして書くことができる」について、全国平均を上回っている。特に、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる」については全国平均よりも 18.6% も上回り、その差は目を見張るものがある。

「読むこと」

△平均正答率は、全国平均を上回っている。
 「表現効果について、根拠を明らかにして考えることができる」「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方をとらえることができる」「文章の展開や構成について、根拠を明確にして、考えることができる」について、全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「話すこと」

資料を用い、自分の考えをまとめて話すこと。

「書くこと」

文章を要約する際に着目すべき情報はどれか自ら判断し、文章に表現すること。

「読むこと」

文章の構成、文全体と部分の関係などに気を付けて、解釈すること。

改善の方向

「話すこと」

資料を伝えるスピーチや話し合いなどの活動では、相互評価や振り返り活動を充実させる。

「書くこと」

段落ごとの要旨や筆者の主張を捉える活動、文章全体を要約する活動を充実させる。

「読むこと」

文の構成を理解するために、形式段落ごとの中心文を意識して読ませる。

分 類	区 分	全国との比較
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	△
	書くこと	△
	読むこと	△
問題形式	選択式	△
	短答式	△
	記述式	△

※+3.1%以上 上回っている △
 ±3% ほぼ同程度であるが、やや上回っている ◇
 ほぼ同程度であるが、やや下回っている ◆
 -3.1%以下 下回っている ▼

学力調査の結果の概要及び改善の方向等について

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向																			
【領域】 「数と式」 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「素数の意味を理解しているかどうかをみる」「事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる」「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 ・「数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」について、全国平均をほぼ同程度ではあるが上回っている。 「図形」 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる」「証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる」「統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる」「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 「関数」 ◇平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる」「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 「データの活用」 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「相対度数の意味を理解しているかどうかをみる」「必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる」「不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。	「数と式」 数量関係を捉えて、立式でできるようにすること	「数と式」 数量関係を文字を使って表したり、文字式が表している事象を読み取る場面を大切にした学習活動の充実。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分 類</th><th>区 分</th><th>全国との比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">学習指導要領の領域</td><td>数と式</td><td>△</td></tr> <tr> <td>図形</td><td>△</td></tr> <tr> <td>関数</td><td>◇</td></tr> <tr> <td>データの活用</td><td>△</td></tr> <tr> <td rowspan="3">問題形式</td><td>選択式</td><td>△</td></tr> <tr> <td>短答式</td><td>△</td></tr> <tr> <td>記述式</td><td>△</td></tr> </tbody> </table>			分 類	区 分	全国との比較	学習指導要領の領域	数と式	△	図形	△	関数	◇	データの活用	△	問題形式	選択式	△	短答式	△	記述式	△
分 類	区 分	全国との比較																			
学習指導要領の領域	数と式	△																			
	図形	△																			
	関数	◇																			
	データの活用	△																			
問題形式	選択式	△																			
	短答式	△																			
	記述式	△																			
<table> <tr> <td>+ 3.1%以上</td><td>上回っている</td><td>△</td></tr> <tr> <td>± 3%</td><td>ほぼ同程度であるが、やや上回っている</td><td>◇</td></tr> <tr> <td></td><td>ほぼ同程度であるが、やや下回っている</td><td>◆</td></tr> <tr> <td>- 3.1%以下</td><td>下回っている</td><td>▼</td></tr> </table>			+ 3.1%以上	上回っている	△	± 3%	ほぼ同程度であるが、やや上回っている	◇		ほぼ同程度であるが、やや下回っている	◆	- 3.1%以下	下回っている	▼							
+ 3.1%以上	上回っている	△																			
± 3%	ほぼ同程度であるが、やや上回っている	◇																			
	ほぼ同程度であるが、やや下回っている	◆																			
- 3.1%以下	下回っている	▼																			

学力調査の結果概要及び改善の方向等について

【中学校理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向																			
【領域】 「エネルギー」を柱とする領域 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 「粒子」を柱とする領域 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 「生命」を柱とする領域 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。 「地球」を柱とする領域 △平均正答率は、全国平均を上回っている。 ・「地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる」について、全国平均を上回っている。	「エネルギー」を柱とする領域 観察・実験において、生物を分類する上での思考力の一部に課題が見られた。 「粒子」を柱とする領域 記号を書くという基礎的、基本的な技能の一部に課題が見られた。 「地球」を柱とする領域 大地の変化について、時間的、空間的な見方を働せる思考力の一部に課題が見られた。	「エネルギー」を柱とする領域 基礎的、基本的な技能を定着させるための学習指導を行う。 「粒子」を柱とする領域 観察・実験を通して、様々な視点で思考する力を身に付けさせるための場面設定を行う。 「地球」を柱とする領域 モデル等を用いた観察を通して、巨視的・長期的な視点で宇宙や地球を見る力を身に付けさせる。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分 類</th><th>区 分</th><th>全国との比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">学習指導要領の領域</td><td>エネルギーを柱とする領域</td><td>△</td></tr> <tr> <td>粒子を柱とする領域</td><td>△</td></tr> <tr> <td>生命を柱とする領域</td><td>△</td></tr> <tr> <td>地球を柱とする領域</td><td>△</td></tr> <tr> <td rowspan="3">問題形式</td><td>選択式</td><td>△</td></tr> <tr> <td>短答式</td><td>△</td></tr> <tr> <td>記述式</td><td>△</td></tr> </tbody> </table> ※＋3.1%以上 上回っている △ ±3% ほぼ同程度であるが、やや上回っている ◇ ほぼ同程度であるが、やや下回っている ◆			分 類	区 分	全国との比較	学習指導要領の領域	エネルギーを柱とする領域	△	粒子を柱とする領域	△	生命を柱とする領域	△	地球を柱とする領域	△	問題形式	選択式	△	短答式	△	記述式	△
分 類	区 分	全国との比較																			
学習指導要領の領域	エネルギーを柱とする領域	△																			
	粒子を柱とする領域	△																			
	生命を柱とする領域	△																			
	地球を柱とする領域	△																			
問題形式	選択式	△																			
	短答式	△																			
	記述式	△																			

生徒質問調査（生活習慣・学習習慣に関すること）

【全国と比較して肯定的な回答の多いもの】

- ☐朝食を毎日食べていますか。
- ☐将来の夢や目標を持っていますか。
- ☐新聞を読んでいますか。
- ☐普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
- ☐土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ☐読書は好きですか。
- ☐あなたは自分がP C・タブレットなどのI C T機器で文章を作成する（文字・コメントを書くなど）ことができると思いますか。
- ☐1，2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- ☐国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれますか。
- ☐文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか。
- ☐理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
- ☐理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたことが見つかったか、振り返っていますか。

【全国と比較して肯定的な回答の少ないもの】

- ☐毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ☐先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
- ☐人が困っているときは、進んで助けますか。
- ☐いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ☐人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ☐分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか。
- ☐地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ☐1，2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいましたか。
- ☐1，2年生の時に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか。
- ☐学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。
- ☐授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。
- ☐学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- ☐道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

この調査結果を受けて、次年度の授業改善（I C T機器の活用含む）に努めるとともに生活習慣についても見守っていきたいと考えております。